

## 岡山多文化共生政策研究会 第4回 議事概要

日 時 平成22年3月9日(火) 10:00~12:00

場 所 岡山国際交流センター 3F 研修室

出席者 岡山大学教員7名 岡山市、倉敷市、津山市及び総社市職員 (財)岡山県国際交流協会職員 岡山県国際課職員5名

### ○岡山大学 あいさつ

第4回の研究会になり、岡山県在住外国人生活状況調査報告書(案)が出ているが、皆様方のご苦勞、ご努力により、一応のまとめが出来上がった。来年度も、この報告書をもとに、検討を進め、研究会が発展することを期待している。岡山大学としても様々な形で、自治体等と連携し、多文化共生社会の実現に向けて微力を尽くしたいと考えている。

### ○アンケート及び聞き取り調査結果の検討について(議題 1)

岡山県国際課から、「岡山県在住外国人生活状況調査報告書(案)」について説明し、逐次、質疑応答を行った。

※報告書(案)については、検討中のため公表しておりません。

### ●総論・概要

(岡山県)

- ・アンケートは、回答があったものを項目毎に集計した結果を掲載している。
- ・集計は、一つの回答を求めたものは、円グラフ、複数回答を求めたものは、棒グラフで示している。

(岡山大学)

- ・調査方法は、アンケート調査と聞き取り調査とあるが、聞き取り調査によるアンケート調査も考えられるので、アンケート調査の前に「質問票による」を追記したらどうか。

### ●アンケート調査について(基本属性)

(岡山県)

- ・回答者は、女性が多く、男性が少ない。
- ・年代は、20代、30代が多い。
- ・国籍は、中国籍が6割となっている。
- ・在留資格は、研修、日本人・永住者の配偶者等、永住者の順に多めになっている。
- ・日本及び岡山での滞在期間は、3年未満が半数を超えている。
- ・居住地は、岡山市と倉敷市で6割を超えている。
- ・岡山に定住したい人と母国に帰るとした人が3割ずついる。
- ・同居している人は、配偶者が5割弱となっている。

(岡山市)

- ・現在、同居している人はいますか?の設問で、その他に回答している人は、どのような人がい

るのか。

(岡山県・岡山大学)

- ・研修生で企業の寮などに一緒に住んでいる人が、その他に回答しているようだ。質問の仕方の反省点でもある。

(岡山大学)

- ・アンケートの結果と統計数字の区別をわかりやすくしてほしい。

## ●日本語能力

(岡山県)

- ・話す、聞く、読む、書くについて、4割程度の人が能力不足と感じている。
- ・日本語学習意欲を持っている割合は高い。
- ・勉強方法は、独学が多く、日本語教室等の利用が少ない。
- ・勉強していない理由は、近くに日本語教室がなかったり、時間がないが多い。
- ・日本語以外で使える言葉としては、中国語が多く、続いて英語となっている。

## ●雇用

(岡山県)

- ・一年前と比較した収入及び仕事量については、あまり変わっていないという回答が多かった。
- ・就業者が6割弱で、続いて学生、専業主婦・主夫となっている。
- ・仕事の業種は、製造業が4割強。
- ・働き方は、研修生・技能実習生が4割強。アルバイト・パート、正社員と続いている。
- ・仕事の見つけ方は、母国の情報が多いが、知人の紹介など様々な方法があるようだ。
- ・仕事の不満は、低賃金、外国人差別、同僚とのコミュニケーションなどが多めとなっている。

(岡山市)

- ・業種を聞いた問いで複数回答なのに円グラフとなっているのはなぜか。

(岡山大学・岡山県)

- ・回答に重複回答が、ほとんどなかったため、見やすくした。注意書きを入れる方向で検討する。

(岡山大学)

- ・棒グラフは、多い順に並べた方が、よく分かるのではないか。

(岡山大学・岡山県)

- ・現在は、質問票の順番になっている。

## ●子育て・教育

(岡山県)

- ・回答者が若く、研修生が多いので、子どものいない世帯が7割を超えている。
- ・子育ての方法は、家族でが5割弱、保育園・幼稚園が4割強。
- ・子育てで困っているのは、親同士の交流がない、出産費用が高いが多めになっている。
- ・小学生から18歳以下の子どものうち3/4は、日本の学校に通っている。
- ・日本の学校に望んでいるのは、特別指導が多く、外国人のみを対象とした授業は少ない。
- ・日本の学校に行っていない子どもは、フリースクール・塾に通っている。
- ・教育で心配しているのは、教育費用が高く、進学不安、日本語の理解不足が続いている。

(総社市)

- ・棒グラフの%表示の小数点の桁数がバラバラになっている。

(岡山県・岡山大学)

- ・統一した表記にしたい。

### ●住宅

(岡山県)

- ・居住しているのは、民間賃貸や社宅が多い。
- ・困っていることでは、家賃が高いが多くなっているが、とくに困っていないが5割を超えている。

### ●医療・保険

(岡山県)

- ・保険・年金については、いずれかの制度に加入しており、未加入は、わずかとなっている。
- ・未加入の理由は、金銭的な負担が多い。
- ・けがや病気の際は、病院や診療所にほとんどの人が行っている。
- ・病院や診療所に行かない理由は、費用と言葉の問題が多めになっている。

(岡山大学)

- ・保険・年金未加入と回答した人に加えて、この設問に回答していない人が未加入の理由について回答しているものがあるため、数字の不突合がある。

### ●防災

(岡山県)

- ・災害発生時の情報入手先は、テレビからが8割を超えており、インターネット、職場・学校、友人・知人が続いている。
- ・災害について知っておきたいことは、避難場所・経路、緊急時の問い合わせ先が多めになっている。

### ●生活情報

(岡山県)

- ・生活情報の入手先は、日本語メディア（新聞、雑誌、テレビなど）は5割弱、同国籍や日本人の友人・知人、職場・学校、母国語のインターネットが多めになっている。
- ・行政や、外国人交流支援団体からの情報は、6割近くが満足しているようだが、全く足りないと回答した者も2割いる。
- ・欲しい情報は、就職・雇用が多く、外国語での相談窓口が続いている。

### ●困りごと・相談

(岡山県)

- ・普段の生活で困っていることは、言葉の問題が多い。続いて習慣・文化の違い、仕事、生活費などとなっている。
- ・日本人とのトラブルを経験しているのは、2割程度。
- ・トラブルの原因は、日本人の無理解や理解しようとする気持ちがない、言葉の問題などが挙げられている。
- ・トラブルの内容の自由記述は、日本語で回答のあったものは、原文のまま掲載している。他の言語については、翻訳したもの。なお、( )で性別、年齢、国籍、永住資格の回答者のプロ

フィールを付けている。

- ・多文化共生に必要なことは、外国人に対する理解、雇用の増加が高く、意見を反映する仕組み、日本語を勉強する機会の増加などが続いている。

(国際交流協会)

- ・自由記述は、言語別に分けているが、国籍非公表としても国がわかってしまうのではないか。

(岡山大学)

- ・自由記述は、どのように掲載するのか。

(岡山県)

- ・非公表という表現だが、実際はその項目について回答がなかったものであり、非公表を希望しているものではない。
- ・本人がわかるような表現は、良くないが、実状を理解する上で、日本語で記述のあったものは、そのまま掲載し、その他は翻訳したものを掲載したいと考えている。

(国際交流協会)

- ・言語別になっているとこの国籍の人は、こういう考えだと思ってしまう平等な目で見れなく恐れがあると感じる。

(岡山大学)

- ・日本語記述をどうするのかも含めて、今後どう取りまとめるかの過程で検討していただきたい。

(岡山大学)

- ・非公表という表現は無回答にしたらどうか。
- ・プロフィールについては、居住市町村を入れるかどうかを検討して欲しい。地域的な傾向があった方が良いのかもしれない。
- ・本日、プロフィールの公表事項については、基本的な合意を得た方が良いのではないか。

(津山市)

- ・市町村としては、国籍等の情報があつた方が傾向がわかるのでありがたいが、報告書は公表されるものであるとすると入れた方が良いかどうかはわからない。

(倉敷市)

- ・市町村は必要ないと思う。外国人はターゲットになりやすい。特定されなくても〇〇国籍の20代と言うことだけでも目を付けられやすい。

(総社市)

- ・市町村別は必要ないと思う。

## ●地域社会

(岡山県)

- ・地域で参加している活動だが、多いのはお祭り・イベントとなっているが、とくに参加していないが5割を超えており回答としては最も多かった。
- ・活動参加を促進させるには、開催日情報の周知が最も多く、友人・知人と一緒に参加、休日に実施などが続いている。
- ・普段付き合っている人は、同国出身が最も多いが、日本人が多いが次にきている。
- ・地域の国際化のためにできることとしては、母国語や文化の紹介や、ボランティア活動、交流の架け橋などが挙げられている。

## ●行政等サービス

(岡山県)

- ・外国人交流支援団体が実施している日本語教室や相談業務等のサービスの利用状況は、知らない、利用したことはないが8割程度となっている。
- ・外国人交流支援団体に望むことは、交流や国際理解のためのイベント開催、日本語教室の増加の要望が多めになっている。

(岡山大学)

- ・12の自由意見も含めて、どうまとめるのか、分析を加えるのかどうか。

(岡山県)

- ・調査報告書としては、このまま掲載する予定である。

## ●質疑応答

(津山市)

- ・行政サービスの自由記述だが、言語に分けるより、カテゴリー別に分けたらどうか。

(岡山県)

- ・自由記述のまとめ方については、検討したい。

(岡山大学)

- ・見やすさ、読みやすさを優先するのであれば、日本語記述の表現を修正するという考えもある。
- ・一般の方に公開すると読みづらいとされるかもしれない。公表するのであれば、日本語記述を整えた方が良いのではないか。

## ●聞き取り調査について

(岡山県)

- ・アンケート調査を補完する目的で実施する。対象は、人口比率の高い、中国籍、韓国・朝鮮籍、ブラジル籍、フィリピン籍とする。
- ・調査方法は、本研究会のメンバーが意見を聴取する形で行う。
- ・韓国・朝鮮籍の方の聞き取りでの主な発言項目は次のとおりである。

- ①差別の歴史
- ②高齢化の問題
- ③若者のアイデンティティの問題
- ④ニューカマーとの抱える問題の違い
- ⑤地域社会との連携 など

- ・中国籍の方の聞き取りでの主な発言項目は次のとおりである。

- ①留学生の増加による支援の必要性（就職、奨学金など）
- ②差別の歴史
- ③研修生の増加によるトラブル
- ④国際結婚 など

- ・ブラジル籍の方については、第3回の研究会に出席していただいたときの意見項目を紹介する。

- ①日本語の能力不足
- ②日本人と触れあうイベントの必要性
- ③生活保護や支援 など

(岡山大学)

- ・調査対象であるが、オールドカマーを対象にしているという趣旨の記載が必要ではないか。現在の表現では、その当たりが読み取れないのではないか。

(岡山県)

- ・表現を検討させていただきたい。

## ○事業実績報告及び今後のスケジュール等について（議題 2）

(岡山県)

- ・資料により、本年度の活動報告を行った。
- ・今後のスケジュールとして、6月を目途に研究会の報告書を取りまとめる予定。
- ・研究会の報告書の作成に当たっては、会員の方の協力をお願いしたい。

(岡山大学)

- ・生活状況調査報告書及び研究会報告書の公表の時期はいつ頃を考えているのか。

(岡山県)

- ・まだ、はっきりとは決まっていないが、6月を目途としている。
- ・報告書の骨組みであるが、現在の案として
  - ①基礎調査（統計資料の分析）
  - ②生活状況調査（調査結果の概要）
  - ③研究会会員の現状（各主体の実情）
  - ④施策の方向性（取組事例と今後の取組）を考えているのでよろしくをお願いしたい。

(岡山大学)

- ・生活状況調査報告書については、集計結果を公表するということだが、踏み込んだ分析について、どうするのか議論ができていない。研究会の報告書にそうした分析を盛り込んで行くことを考えているのか。それを基にして施策の方向性を考えるのではないか。

(岡山県)

- ・質問項目の中でも結果により、施策に生かす部分とそうでない部分がある。直接結果から報告書に書けるものもあれば、分析しなければならないものもあると思う。施策に結びつくように分析等を検討したい。

(岡山大学)

- ・学術的に大学が考察して、論文にまとめることは可能か。

(岡山県)

- ・可能と考えている。

## ○岡山県 閉会あいさつ

在住外国人生活状況調査も最終段階を迎えている。本日いただいた指摘事項については、検討し、相談しながらきちんとまとめていきたい。研究会の報告書については、次期国際化プランに反映させたいと考えている。次回の研究会は4月頃をお願いしたい。

## ○閉会

